

はばたき

斐太北小学校 6学年通信

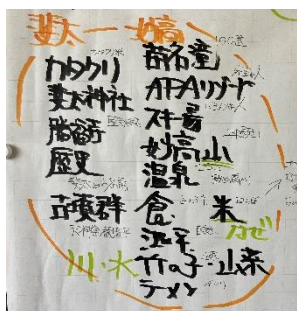
令和7年7月11日 第6号

ユネスコスクールって

前妙高市教育長であり、斐太北小のユネスコスクール登録に向けて働きかけてくださった川上晃先生をお招きして、5・6年生でお話を聞きました。

ユーモアあふれるお話を交えながら、ここ「斐太」にかける思いや、斐太北小学校に期待することをお話してくださいました。キーワードは・・・

「斐太の歴史」と「世界」です。



お話の中で、川上先生から、「斐太、妙高、新潟県、日本のいいところは？」という問いかけがありました。そこは、みらい学習で「ふるさと」斐太や妙高を学習する子どもたちですから、次から次へと「斐太、妙高」のいいところが出てきます。つまり、子どもたちが今現在生きている「世界」は、子どもたちの「ふるさと」であると言えます。今、現在子どもたちの「世界」を、「外の世界」につなげていく活動を

これから子どもと作っていきたいと思います。

「(前略) 1 番は妙高のよさを世界に広めたいです！」(R さん)

さらには、世界につながるためには、英語によるコミュニケーションが不可欠であることにも気づかされた子どもたちです。

「ユネスコスクールは、世界と交流することなので、英語の授業をもっと頑張りたいです。ALTの先生がたくさんいるのはユネスコスクールの世界と交流するためだと初めて知りました。」(K さん)

「世界とつながり、世界ではばたいてほしいということが分かりました。だから、私は、英語の勉強をして世界とつながれるように頑張りたいです。」(R さん)

相手意識をもつことで、さらに学習意欲も高まります。今すぐ外国に行って世界の人とつながる活動は難しいですが、小学校で学んだ英語で外国の人とつながる活動も企画していきたいと考えています。

校外学習に行ってきました

第1弾の妙高高原方面（苗名滝、いもり池、赤倉温泉足湯公園）に行ってきました。実際に行くことでたくさんのことを感じた子どもたちでした。

「苗名滝の音は思ったよりも大きかったし、地震滝と言われているくらいだから振動も大きかったです。水流や水しぶきもすごかったです。(Jさん)」

「橋を渡っていた時に少し揺れて、人が揺らしているのかなと思っていたけど、今思うと滝の振動で橋が揺れているのかなと思いました。(Aさん)」

「(苗名滝は) 何回も家族と行っているけど、はばたきの12人+先生と行くと楽しかったし、みんなで思い出を作れたし家族と行くのとは違う楽しさがあったりしました。(Rさん)」

「苗名滝では、水が硫黄っぽいにおいがしました。正直びっくりしました。少し蒸し暑かったけど、水の近くだったので快適でした。(Rさん)」

「調べている途中で「地震滝」と出てきて、本当に「地震滝」なのか聞いてみたくて、実際に聞いてみて本当に地震のようなゴゴゴゴーっていう音がしました。(Rさん)」

「苗名滝は石がごつごつしていた。行くのは大変だった。滝はUみみたいな感じだった。地震滝と言われるのにも納得できた。源流だから岩が大きかった。すごい迫力だった。(Kさん)」

「水に触ってみたら冷たかったし、歩くところにも水があって早く進めなかったです。橋がゆれていて怖かったし、滝の下の石に沿って歩いてみたらあまり進めませんでした。(Mさん)」

「苗名滝は最初は写真と違うと思っていたけど、ずーっと歩いて橋まで行ったら写真にあったきれいな滝がすごかったです。すごい滝の音が響いてきれいでした。あと、観光客がたくさんいたので、それこそ有名だなーと思いました。(Sさん)」

「ビジターセンターにはイモリがいたり雷鳥の模型や色々な動物の毛皮がありました。すごかったです。妙高山の過去の姿も見れて妙高山の昔が知れてよかったです。(Hさん)」

「いもり池ビジターセンターは人はあまり来なかったけど、最後に出たときに2台くらいの観光バスがあって観光バスで来るんだなぁと思いました。(Yさん)」

「足湯はぬるいところって言うていたけど意外と熱くてびっくりしました。においが独特で変な感じがしました。卵のにおいっぽかったです。濁っていてびっくりしました。(Kさん)」

「全体を通して妙高高原の方は、観光客や遊びに来る人が多いなと感じました。(Sさん)」

実際に目にし、肌で感じたからこそ分かる＝実感できることがたくさんあった校外学習でした。今回の校外学習で、あそこに行きたい！ここも行きたい！あれも体験してみたい！！そんな思いを深めた子どもたちでした。

